

緊急災害調査報告セッション2（一般公開）

「平成30年7月豪雨による地盤災害緊急調査報告」

主 催： 公益社団法人 地盤工学会
共 催： 公益社団法人 土木学会

日 時： 2018年7月25日(水) 15:10～18:10
場 所： サンポートホール高松 大ホール（第1会場）

座 長： 木村 亮(地盤工学会副会長・災害連絡会議座長)

15:10－15:15

開会挨拶 長谷川修一(第53回地盤工学研究発表会実行委員会委員長)

15:15－15:20

主旨説明 木村 亮座長

15:20－15:40

平成30年7月豪雨の概要 野崎智文(国土交通省四国地方整備局企画部長)

15:40－18:00 (途中に休憩を入れます)

調査報告 (各発表10～15分、報告の中程と最後に質疑の時間を設けます)

- ・ 中部地区 沢田和秀 (岐阜大学)
- ・ 関西地区 鏡原聖史 (ダイヤコンサルタント), 藤澤和謙 (京都大学)
- ・ 岡山地区 西村伸一 (岡山大学)
- ・ 広島地区 土田 孝 (広島大学), 森脇武夫 (広島工業大学), 橋本涼太 (広島大学)
- ・ 四国地区 原 忠 (高知大学), 森伸一郎 (愛媛大学)
- ・ 九州地区 村上 哲 (福岡大学)
- ・ 豪雨災害と地盤品質判定士 尾上篤生 (興亜開発)
- ・ 本斜面災害の特徴と過去の災害との相違点 鈴木素之 (山口大学)
- ・ 最近の堤防の被災事例と特徴 石原雅規 (土木研究所)
- ・ ため池の被災事例から見た減災機能と維持管理 毛利栄征 (茨城大学)

18:00－18:10

総 括 ～平成30年7月豪雨に対する地盤工学会の今後の方針～
大谷 順(地盤工学会会長)